

処理効率改善システム

フッ素排水処理システム

NEF-1法
NEF-2法

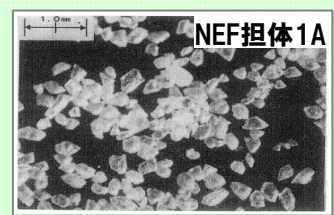
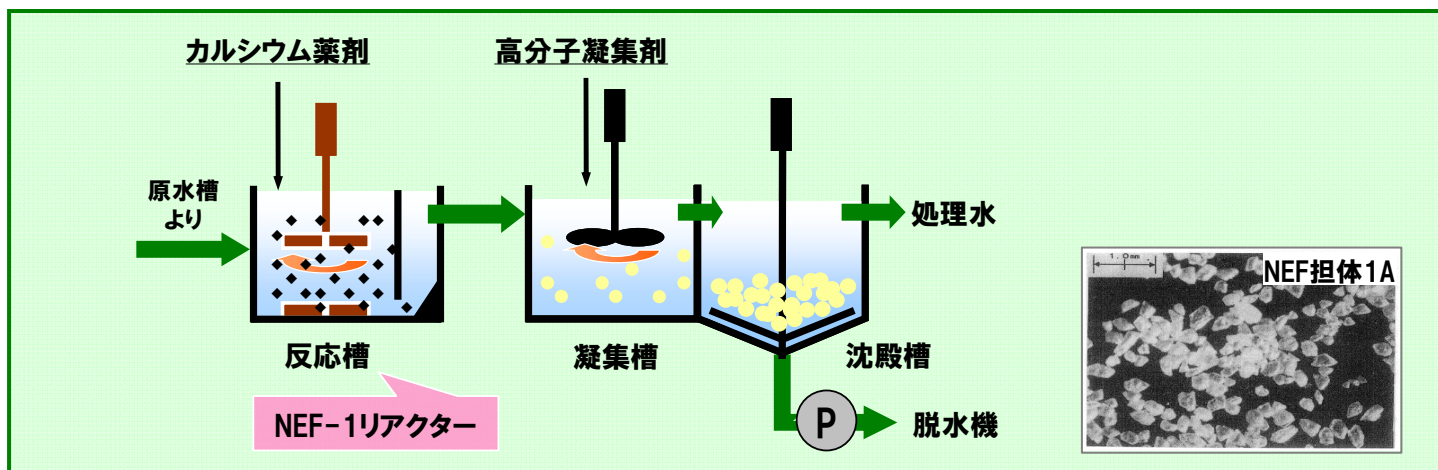


従来のフッ素処理法(カルシウムによる一次処理、アルミニウムによる二次処理)をベースとし、反応効率を向上させ、低コストかつ安定した処理性が得られる技術です。

カルシウムによるフッ素処理効率を粒状担体(NEF担体1A)により大幅に向上!

フッ素排水一次処理システム(NEF-1法)の特徴

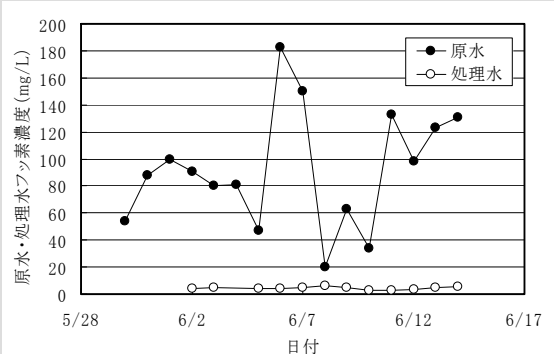
- 1) 粒状担体(NEF担体1A)を反応槽内に分散させ、フッ素の反応効率を向上。
- 2) 原水濃度変動に対して安定した処理性を得ることが可能。
- 3) 処理効率の改善により、薬品使用量を低減。
- 4) 本法単独で排水基準値(8mg/L)をクリア。



NEF-1リアクター部分(拡大写真)



ステンレス洗淨排水の処理結果(実装置)

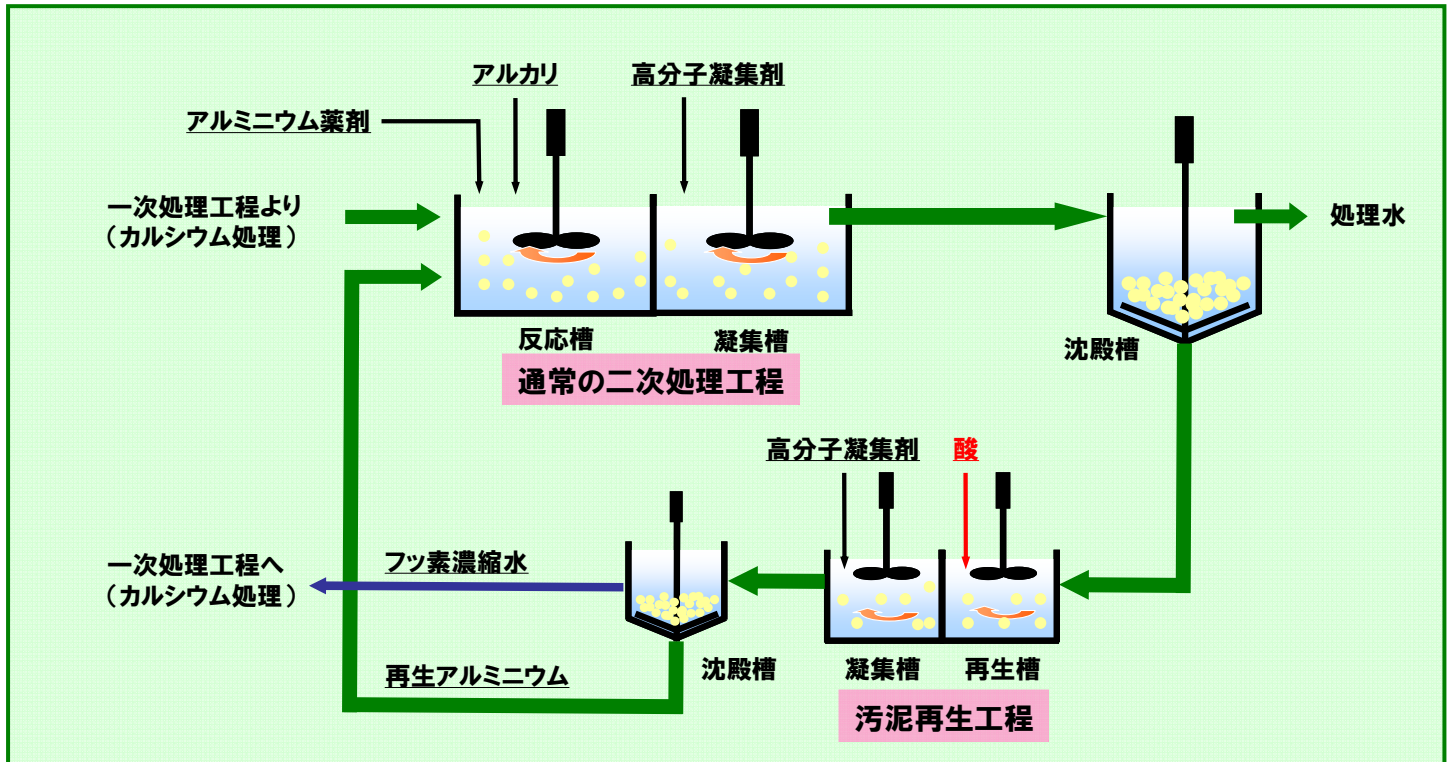


フッ素排水二次処理システム(NEF-2法)

アルミニウムによる二次処理で発生する汚泥を循環リサイクルすることで、アルミニウム薬剤の使用量や汚泥発生量を大幅に削減し、ランニングコストを低減させるシステムです。

NEF-2法の特徴

- 1) 汚泥発生量を従来法の1/4以下に低減。
- 2) 発生した汚泥を循環リサイクルすることでアルミニウム薬剤の使用量を1/4以下に低減。
- 3) 原水濃度変動に対して安定した処理性を得ることが可能。

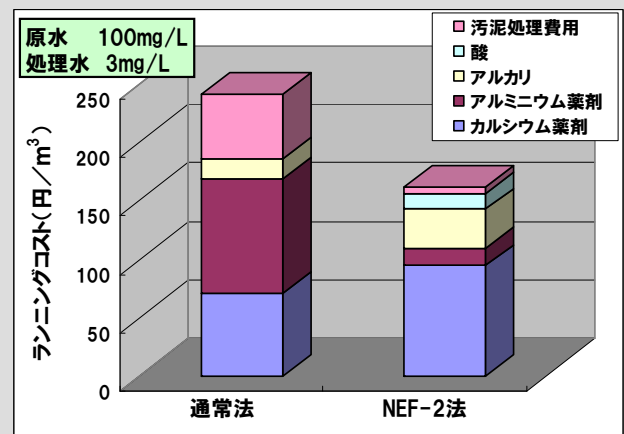


ランニングコスト

通常法と比較して、30～40%のコスト削減！

【試算条件】

- ・フッ素排水一次処理(カルシウム処理)
→ フッ素排水二次処理(アルミニウム処理)
の直列二段処理の場合
- ・NEF-2法で発生するフッ素濃縮水は
カルシウム処理工程に返送して処理



お問い合わせは、下記へ

営業統括事業本部

TEL:03 (5730) 6110 FAX:03 (5730) 6149